



第14号

# 千町田

発行元:(農)のきの郷  
安来市利弘町 922-1  
Tel/Fax:22-2580  
発行責任者:河津 一行

## 将来に向けての展望

代表理事 山本耕一



先日、広島大学林農学博士の講演会を聞くチャンスがあった。内容は「これからの農業政策の方向性と農業と地域を守る集落営農をどう展開すれば良いのか」ということから、米の需要低迷、輸入枠拡大など米を取巻く環境は非常に厳しく、また米価低迷は今後更に続いていく。このままでは規模の小さい営農組織、法人組織では経営が危うくなることは間違いない。これを打破するには地域の営農組織、法人組織をネットワーク化して集約し、スケールメリットを活かせば生き残ることができると思ったものだった。

幸い、のきの郷は県下有数の圃場面積を有しているが現状の基幹作物であるうるち米は、消費需要低迷と余剰在庫によって価格は低迷している。政府はうるち米の余剰在庫量を減らすために、飼料用米の作付面積拡大に力を入れているが交付金の財源がいつまで続くか疑問である。

先日、広島大学林農学博士の講演会を聞くチャンスがあった。内容は「これからの農業政策の方向性と農業と地域を守る集落営農をどう展開すれば良いのか」ということから、米の需要低迷、輸入枠拡大など米を取巻く環境は非常に厳しく、また米価低迷は今後更に続いていく。このままでは規模の小さい営農組織、法人組織では経営が危うくなることは間違いない。これを打破するには地域の営農組織、法人組織をネットワーク化して集約し、スケールメリットを活かせば生き残ることができると思ったものだった。

幸い、のきの郷は県下有数の圃場面積を有しているが現状の基幹作物であるうるち米は、消費需要低迷と余剰在庫によって価格は低迷している。政府はうるち米の余剰在庫量を減らすために、飼料用米の作付面積拡大に力を入れているが交付金の財源がいつまで続くか疑問である。

## 田の草取り お疲れ様でした

春作業が一段落すると、田の草が気になる季節になりました。ヒエなどの目立つ圃場は皆さんのご協力を頂き草取りを行いました。梅雨の蒸し暑い時期にカッパが必要な日があったり日が照りつける日があったりとても大変な作業です。それでも皆さんのご協力です。ヒエなどの草を退治することができました。



きました。本当にお疲れ様でした。

## 農地中間管理機構 利用権設定

農地中間管理機構を通しての第5工区の利用権設定の作業を進めています。8月月初めには終了する予定です。続いて平成25年度にすでにのきの郷と地権者が利用権設定している第1工区から第4工区についても第5工区と同様に農地中間管理機構を通して利用権設定するために事務処理を進めます。この処理は、現在圃場整備前の従前地で利用権設定を

## いっしょにませ

(視察)

- 7月10日 隠岐の島町水田営農経営研究会
- 7月29日 岡山県県土圃場整備
- 8月4日 松江市新庄圃場整備委員会

## 大豆が大きく

## なりました

大豆の播種が終わり10日ほどで芽をだし一雨ごとにすんずんと大きくなって、今は田んぼを青々とした葉で覆っています。

今年の作付面積は

27ha、主な作付け地は5工区と4工区の菜種、麦の後作です。



## とまと栽培始まる

圃場の作業が一段落し、いよいよとまとの作業が始まりました。今年も去年と同様JAの育苗ハウスを利用して栽培しています。特産部メンバーの入替えが多少ありましたが、今年もおいしいとまとを供給されます。

栽培品種は去年人気だった甘いとまとフルティカです。8月下旬から収穫が始まる予定です。お楽しみにお待ちください。



## 代漕ぎ開催

7月4日代漕ぎが開催されました。春作業に出られた方を対象としており、対象者は91名で参加者は43名となり約半数の方に参加いただきました。今年はバーベキューということでのきの郷のパイプハウス内で行いました。



春作業の作業内容も変わってきたこともあり、年々出役していただく方が少なくなっています。多々な作業があるので、少しでも皆さんの作業協力をよろしくお願いします。



## 第3回おこししない祭り

今年は豊作祈願をこめて8月22日(土)に開催します。夏祭りということから夕方から始めます。例年同様焼きそば、フランクフルトなど屋台、とまとやなたね油の直売はもちろんのこと、かき氷、スーパースクールに当てるなどお子様も楽しめるような企画を考えています。

また組合員以外の方も一緒に参加いただくようお知らせしています。多数のお出掛けをお待ちしております。



毎日暑い日が続きます。皆様は暑さにめげずお勤めや畑仕事を頑張っておられますか。最近千町田の記事にならないかと「能義郷土史」なるものを手に取りました。地域の歴史、古文書の読み込み、寺社の変遷など読みだすと興味深いにしえの人たちの営みがどのようであったろうかと思いをはせてしまいます。私の今月の言葉は「温故知新」です。(カ)